

# THE ROOF

郡山市立美術館ニュース ザ・ルーフ

2012.10.23 Vol. 41



開館までをふりかえる

佐藤昭一（郡山市美術連盟会長）

一九七〇年代後半、全国的な新美術館建設ブームのうねりの中で郡山にもその気運が高まり始めた。県は立県百年を記念し、文化元年を提唱。博物館、図書館、そして美術館建設の旗印をかかげる。

一九七九年、私たちは県立美術館の誘致を視野にいれ、「郡山に美術館をつくる会」を結成、会報を発行し、チャリティー展を開催した（市内在住作家一一五点出品。売り上げ八五五、四万五千五百円。市文化振興の基金に百四十三万円寄付）。署名運動で、四万五千人の賛同を得た。しかしこの運動は郡山市周辺の市町村をもふくめて広がりをもせたものの、県立美術館の設置場所は福島市に決定。つくる会の運動の支柱は郡山独自の美術館づくりにしほられ本来の姿にもどり、市当局も積極的に参画。本格的な企画、立案、実施の方向が打ち出された。

一九八三年、郡山市美術館基本構想答申（同懇話会による）八五年に美術品取得基金条例公布・施行。八七年、美術館設立準備室、同建設検討委員会が設置された。八八年、美術フォーラム「美術館について考える」を開催（講師 三木多聞氏）、建設場所も決定した。八九年、建設設計競技審査会開催。九〇年、文化センターで收藏美術品特別展示開催。同年、設計案当選業者決定、株式会社TAK建設・都市計画研究所（現・株式会社柳澤孝彦+TAK建築研究所）に設計委託。二年をかけて一九九二年に美術館本体工事が完了した。同年七月に美術館条例施行。建設準備室解散、美術館としてスタートを。同年十一月外構工事了。同月二十一日に開館をむかえる。

開館以後については、今日ある展示の内容が重層的に集約されて眼前に展開されている。しかしその内容と歴史がつくられた土台になつた経過も又みのがすことはできない。今にしておもえば、あつてなきが如しの時間。何かをつくりあげていこうとした意気込みのようなもの、価値を大切にしながらの十数年間をふりかえって、あらためて郡山の美術館の存在をみなおしてみる今を。

# 開館20周年記念 バーン・ジョーンズ展

会期 10月23日(火)～12月9日(日)

休館日 毎週月曜日  
 観覧料 一般1000(800)円 高校・大学生500(400)円  
 ※( )内は20名以上の団体料金。

中学生以下、65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方は無料。

主催 郡山市立美術館 東京新聞  
 後援 プリティッシュ・カウンシル 協力 日本航空



「アヴァロンにおけるアーサー王の眠り」1894年 グワッシュ・紙 53.6×190.7cm 当館蔵

丸の内の三菱一号館美術館で開催されていた「バーン・ジョーンズ展」(6月23日～8月19日)。19世紀末イギリスを代表する画家の展覧会において、出品作の当館所蔵「フロロー」は、その会期中、たくさんの方のフラッグに印刷されて丸の内界隈の街路灯ではためき、道行く人々の目を楽しませていました。バーン・ジョーンズの熱烈なファンである評論家の立花隆氏は、展示されていた「アヴァロンにおけるアーサー王の眠り」を見て、それが日本の、しかも郡山市立美術館が所蔵していることにたいへん驚かれたそうです(『文藝春秋』9月号)。当館所蔵作品が多くの方々に喜ばれているという事実、作品は生きているのだなあ、ということをつくづく実感させられます。

さて、その「バーン・ジョーンズ展」がついに当館で開催されます。寡作だったため開催がとてつもない難題な彼の展覧会が、イギリス本国でもなかなか見ることができません。「フロロー」と「アヴァロンにおけるアーサー王の眠り」は、世界各国から集まるばかりやってくる作品群と一緒に展示されることで、私たちにどんな感動を与えてくれるのでしょうか。ご期待ください。



「フロロー」1868-84年 油彩・キャンバス 95.5×64.9cm 当館蔵

## 会期中のイベント

●ギャラリートーク 会場||企画展示室(要観覧券)  
 日時||10月27日(土)、11月17日(土)  
 午後2時から

講師||当館学芸員

●映画会 会場||多目的スタジオ(無料)  
 『ピグマリオン』1938年 イギリス 96分

原作||ジョージ・バーナード・ショウ

日時||10月28日(日) 午後2時から

『いばら姫またはねむり姫』

1990年 日本・チェコ合作 22分

演出・脚本・人形美術||川本喜八郎

日時||11月4日(日) 午前11時、午後2時、午後3時から

●『ユメ十夜』2007年 日本 100分

原作||夏目漱石 監督||市川崑、実相寺昭雄他

日時||11月24日(土) 午後2時から

●『真夏の夜の夢』

1983、84年 スペイン・イギリス合作 78分

出演||リンゼイ・ケンプ・カンパニー

日時||12月1日(土) 午後2時から

●美術講座 会場||講義室(無料)

「バーン・ジョーンズと日本」

日時||11月11日(日) 午後2時から

「バーン・ジョーンズの魅力」

日時||12月2日(日) 午後2時から

講師||当館学芸員

●講演会 会場||多目的スタジオ(無料)

演題||「バーン・ジョーンズとウィリアム・モリスーイギリス19世紀末の美学」

講師||河村鏡一郎氏(一橋大学名誉教授)

日時||11月23日(金・祝) 午後2時から

## Report

### ベスト・セレクション 所蔵作品日英近代美術名品選

平成24年9月22日(土)～10月14日(日)  
 会場: 企画展示室



当館の充実した日英の水彩画の名品を一気に見ることができる、貴重な展覧会でした。また、同時に展示ロビーではこれまでの展覧会の中から選りすぐりのポスターも掲示しました(11月4日まで)。

### 第11回風土記の丘の美術展

平成24年7月24日(火)～8月26日(日)  
 会場: 展示ロビー  
 主催: 郡山市立美術館  
 郡山市小学校造形教育研究会



郡山市内の各小学校で、子供たちが図工の授業で作った作品を週替わりで展示しました。郡山市に避難している小学校の子供たちの作品も含め、楽しい展示になりました。

●第5回風土記の空  
 郡山市内の中学校美術部・選択美術による作品展  
 会場||ロビー(無料)  
 会期||11月13日(火)～12月16日(日)

美術部や選択美術で制作した郡山市内の中学生による作品展です。みずみずしく、若さにあふれた作品を、中学生自身が額装し、美術館ロビーに展示します。

ぜひ、ご覧ください。



昨年の展示作業風景 (会期: 平成23年11月23日～12月25日)

# 現代の浮世絵師 及川正通展

会期 平成25年1月26日(土)―3月24日(日)  
 休館日 毎週月曜日  
 観覧料 一般500(400)円 高校・大学生300(240)円  
 ※( )内は20名以上の団体料金。中学生以下、65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方は無料。  
 主催 郡山市立美術館 協力 びあ 企画協力 産経新聞社  
 企画制作 ステップ・イースト



## 及川正通さんと郡山

佐藤三郎(ける。ぶ農場会長)

映画『ウッドストック』に憧れて実現した、昭和49年7、8月の前夜祭を含めて11日間の「ワンステッ プフェスティバル」。「街に緑を！若者に広場を！そ して大きな夢を！」を合言葉にしたこのイベントの 中でも開成山陸上競技場での野外ロックコンサート には、5日間で7万人を超える人々が集まりました。 それは今や伝説となっている感もありますが、実は 翌昭和50年8月10日、「空飛ぶカーニバル」というイ ベントがあったことはあまり知られていません。「ワ ンステッ プ」で飛行船を揚げた飯塚武弘氏が、私の 家に寝泊まりしながら、「三郎さん、ワンステッ プだ けで終わったのでは男が磨るよ」と私を説得したの です。そして、「ワンステッ プ」のイメージを払拭す べく、飛行船にかけて「空飛ぶカーニバル」と命 名したのでした。今度の会場は郡山総合体育館、ポ スターデザインは及川正通さんでした。彼のバンド OH! MAN GO!が出演するならポスターも、とお願いし

たのでしょうか。中央の女性は及川さんの奥様がモデ ルらしいです。出演予定の皆に加えて、上の両端に は及川さんと私とがいるなかなか凝ったポスターで した。

音楽を知らない、がモットーの私にとつて、この 「カーニバル」はすこぶる楽しいものでした。ステー ジ奥には6.5mもの大魔神が鎮座して、奇術や舞踊、 映画まで出し物がありました。音楽では、ポスター に名前がないジョー山中や来日していたフェリックス・パラルディなども実は演奏していました。ク リエーションをバックに悠木千帆(現・樹木希林) 氏が「ロックンロールバカ？」を歌い、それに夫の 内田裕也氏がタンバリンを叩きながらコーラスをつ けていました。あの夫婦が舞台で一緒に歌ったのは あれが最初で最後ではなかったでしょうか。

客席には「びあ」の社長矢内廣(いわき市出身) 氏がいたそうです。矢内氏は、自分が発行していた 情報誌『びあ』の表紙を及川さんに描いて欲しかっ たため、わざわざここまで足を運んだのでした。そ の矢内氏の姿に感動し、及川さんは『びあ』の表紙 を引き受けることになったといえます。

郡山と及川さんとの関係といえば、当市出身の作 曲家湯浅譲二氏のLPジャケットも及川さんは描い ているそうです。そんな及川さんと郡山との意外な 関係も今回紹介されるようで、楽しみです。



「空飛ぶカーニバル」ポスター 1975年

## Report

### 公開ワークショップ 紙芝居と絵本の読み聞かせ

講師：野坂悦子氏(翻訳家)  
 平成24年8月11日(土) 13:00～  
 会場：階段ホール



ヨーロッパ各地で紙芝居を紹介し続けている野坂氏。「クライドルフの世界展」にあわせ、自作の作品や、虫や蝶が登場する作品を披露してくださいました。また、9月16日(日)には、講演会「ヨーロッパの絵本世界」(多目的スタジオ)の講師も務めていただきました。

### 公開ワークショップ ダンス・パフォーマンス 「バタフライダンス」

講師：竹内秀策氏(舞踏家)  
 平成24年8月11日(土) 11:00～、14:00～  
 会場：階段ホール



蝶の姿に希望と夢の意味を見出した竹内氏のダンス。わずかな羽ばたき が静かに世界に影響を与える・・・開催中の「クライドルフの世界展」にも通じる幻想的な舞台でした。

### 夏休み公開ワークショップ 風土記の丘発 園工&美術の時間へようこそ！パートⅦ 「つくろう！あそぼう！夏まつり☆」

講師：郡山市内の小中学校の先生  
 平成24年8月5日(日)  
 会場：多目的スタジオ、創作スタジオ



毎年開催している夏休みのこの企画、楽しみにしている方もいらっしゃるようです。今回もたくさんの親子がゲームなどに楽しく参加しました。

# INFORMATION

## 常設展示

■ 10月28日(日)

展示室1 イギリスの版画

展示室2 明治・大正の油彩画

展示室3 郡山の美術

展示室4 版画のいろいろ／涼を求めて

■ 10月31日(水) ～平成25年2月3日(日)

展示室1 イギリスの油彩画

展示室2 日本近代美術にみる浪漫的世界

展示室3 戦後の美術

展示室4 バーン・ジョーンズとヴィクトリア朝／ドレッサーとアーツ&クラフツ運動

■ 平成25年2月6日(水) ～

展示室1 小特集 ホーガースの風刺画

展示室2 ファッションと風俗

展示室3 イギリスのポップ・アート

展示室4 明治のプロマイド／くらしを彩る

※10月30日(火)、平成25年2月5日(火)は、展示替えのため常設展示室はご覧になれません。

## 雪村周継「四季山水図屏風」特別展示

■ 平成25年1月5日(土) ～ 20日(日)

当館所蔵の、晩年を西田町で過ごしたとされる雪村周継(1500年頃～1580年代前半)屏風を企画展示室で展示します。常設展のチケットでご覧いただけます。

料金 一般200(150)円 高・大生100(70)円

( )内は20名以上の団体料金。中学生以下、65歳以上、障がい者手帳をお持ちの方は無料。

## 新企画 館長講座 <アート・テーク> ART TAKE



金更紗 17-18世紀初め

<アート・テーク>は、文字通り「アートに触れる」、「アートをとらえる」ことを意図した講座です。

アートとは、本来は、自然に対置される人間の技能、その結果としての人工物などを意味する言葉でした。この技能には、実際にものを作る、存在させる技術、さらにはそれを認識する感性や知識、理論も含まれます。

テークは英語の Take にちなんでいます。Takeは「触れる、つかむ、とらえる」を原義とし、人が何かを自分のものとすることを意味する重要な言葉です。対象との関わり方そのものを意味するキーワードです。

アートは、今日、時代や社会の変化のなかで、そこに何らかの精神的な価値や感興を含む芸術や美術と同義とみなされることが多いのですが、ここでは広義の意味で捉えています。既成の価値観や評価にこだわらず、日常生活に点在するアートをめぐる様々な事象をテーマにして、それぞれの人にとってのアートを一緒に考えます。アートの意味を決めるのは、時代であり、社会であり、そしてあなたなのです。

- 第1回 11月17日(土) ものの情報を読む～「布」と人  
第2回 12月15日(土) もの作る国～日本的創作史  
第3回 平成25年1月19日(土) 名作の誕生～美術の歴史、鑑賞の歴史～

- 第4回 平成25年2月16日(土) ものが「動く」  
第5回 平成25年3月16日(土) 美術館の誕生～郡山市立美術館への旅～

講師：佐治ゆかり(当館館長)  
会場：講義室(無料)  
時間：午前10時30分～  
※毎月第3土曜日開催の講座です。どの回でも自由に聴講できますので、お気軽にご参加ください。

## TOPICS

美術館のカフェ **juju 130 cafe**  
(ジュジュ イチサンマルカフェ)

素晴らしい作品を鑑賞した後、その余韻に浸るのにはぴったりのオシャレなカフェ。おなじみのワンプレートランチのほか、小腹が空いている時には外はパリッ、中はふわりのとびきり大きなクロワッサンもお試しあれ!

営業時間 11:00-17:00  
電話 024-942-2250



## 全館休館のお知らせ

12月20日(木)から平成25年1月4日(金)まで、年末年始及び館内消毒のため、全館休館となります。

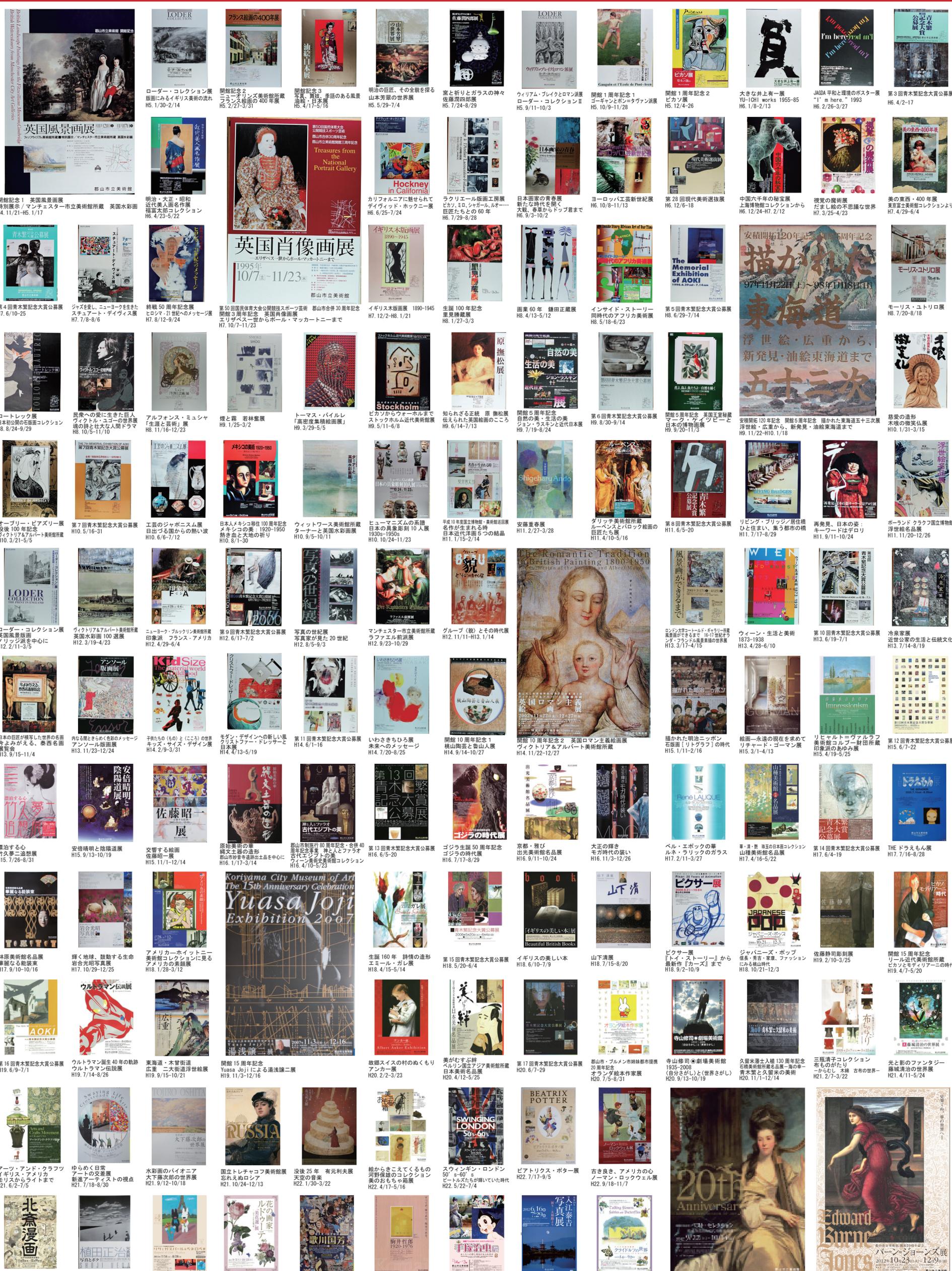


郡山市立美術館  
Koriyama City Museum of Art

〒963-0666 福島県郡山市安原町字大谷地130-2  
電話 024-956-2200 ファックス 024-956-2350  
<http://www.city.koriyama.fukushima.jp/bijyutukan/>

# 135回の展覧会とともに20年 郡山市立美術館 ● 全展覧会ポスターコレクション

郡山市立美術館開館20周年記念  
**20th Anniversary**  
KORIYAMA CITY MUSEUM OF ART



※掲載されているポスターのオリジナルサイズはすべてB2判です。